



ご挨拶 第5回日本介護支援専門員協会全国大会

第5回 日本介護支援専門員協会全国大会 in 鹿児島
第2回 九州・沖縄ブロック介護支援専門員研究大会 鹿児島大会

開催県会長 黒木 隆之

(NPO法人鹿児島県介護支援専門員協議会会长)

第5回日本介護支援専門員協会全国大会及び第2回九州・沖縄ブロック介護支援専門員研究大会を鹿児島で開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

介護保険制度設立10年目、制度改革や介護報酬の見直しと節目の年を迎え、厚生労働省は制度の現状と課題について各部会に諮問されております。

団塊の高齢者層の到来、少子高齢化による給付と負担の問題、在宅介護を支援するためのサービス、グループホームや施設の待機者解消の課題等々多岐にわたる問題が山積となった改正の年でもあります。

また、我々介護支援専門員を取り巻く情勢も楽観視できるものではありません。介護保険制度の要と位置付けられた介護支援専門員は、平行して高度な研修を義務付けられたものの研修補助金は半減し、一方3年毎に見直される居宅介護支援の介護報酬では当初の950単位から1,300単位を経たものの、昨年度の改正では加算で換価されることとなっております。多くの事業所は職員配置の壁に当たり加算対象となり得ず赤字経営を強いられており、新設された処遇改善交付金では介護支援専門員は対象外となっております。

次年度の改定案では、居宅介護支援の介護報酬に利用者負担までもが話題に上がるなど、財源不足を理由にしたサービスの低下の議論は介護保険制度発足の原点に大いに反するもので、世界に誇る制度の存続にも危惧を抱くものであります。団塊の高齢者層は必然であり負担への対応は当然となりますが、重度化を抑制するための予防重視だけでは限界があり、適当財源・税収の確保と手段が必要となり政治課題でもあります。

我々も常にケアマネジメントの原点に徹し、利用者の安全安心と喜楽のために精魂を尽くして努力する覚悟であります。

最後に、2日間知識と議論を深めた後は是非知覧の特攻基地で涙を流され、屋久島の自然で英気を養ってください。

燃える桜島は我々の意氣を感じ、噴煙を揚げています。

力を結集して頑張りましょう。

大会会場

1日目 2月18日(金)

開会式・分科会会場 城山觀光ホテル

〒890-8596 鹿児島市新照院町41番1号 TEL.(099)224-2211

2日目 2月19日(土)

全体会場 鹿児島県文化センター(宮山ホール)

〒893-0819 鹿児島市山下町5-9 TEL.(099)223-4221